

広報広聴事業

コロナ禍における市民と市議会との意見交換会

## 実施報告書



—目次—

1. はじめに
2. 開催概要
3. 各団体からの意見
4. 議会だより読者からの意見
5. 最後に

## 1. はじめに

平成26年度に初めて市議会として議会報告会を開催してから8回目を迎える市民との意見交換会を行いました。この間、様々な試行の中、広く市民の皆様方から直接的に市政や議会に対する率直な御意見を聞かせていただく貴重な場として取組をしてまいりました。

しかし、新型コロナウイルスが全世界で蔓延し、その感染の収束が見込めない中、本来であれば、市民の皆様と顔を合わせて貴重な御意見を頂く場を本年も開催できませんでした。

今回は、市内の各種団体に事前収録を依頼し、本年1月より供用が開始されました新庁舎議場にて、寄せられた御意見に答える様子を撮影し、バーチャルにて対面しているようなイメージで動画配信とさせていただきました。撮影で頂きました貴重な御意見を真摯に受け止め、市民の代表である議会として検討、協議を重ね、責務を果たしていきたいと考えております。

第20期も残り少なくなりました。次回につきましては、感染状況を十分考慮しつつ、対面により多くの皆様を交えての開催をできるよう準備したいと思っております。

### 岩見沢市議会広報広聴委員会

委員長 武田 貞行

副委員長 池島 和行

委員 越戸 正樹

峯 泰教

宮下 透

日向 清一

山田 靖廣

猪口 満雅

河合 清秀

太田 博之

## 2. 開催概要

### ■実施日時（動画収録日）

令和4年3月1日（火）

※令和4年3月18日（月）～令和5年3月31日（金）（予定）まで YouTube で配信

### ■開催場所

市役所本庁議場

### ■開催方法

YouTube での録画配信

※本来であれば、市民の皆様と対面し、意見交換の場を提供するところでしたが、コロナ禍であることを踏まえて、事前に市内各団体等へ動画撮影による取材を行い、その後、全議員で取材動画に対して回答をする動画を撮影しました。また、市議会だより2月号にて読者に対して質問を募り、その質問に回答する場面も設けました。

### ■参加者

全議員22名

### 【事業内容】

新型コロナウイルス感染症によって様々な影響を受けた市内各団体や学生の方々、また、市議会だより読者から御意見をいただき、それに対して議員が答弁を行いました。

### 3. 各団体からの意見

#### 【参加団体】

下記9団体からの意見をいただきました。（敬称略）

団体名	意見項目
岩見沢市PTA 連合会 会 長：金田貴彦 副会長：室永雅人	●コロナ禍での影響 ●GIGA スクール ●市の教育行政の課題 ●市議会に期待すること
岩見沢市町会連合会 会 長：千葉 修	●コロナ禍での町連の活動内容 ●町内会活動におけるコロナ禍での影響 ●市議会に期待すること
岩見沢商工会議所 会 頭：松浦淳一 副会頭：南部博明 副会頭：木村 聡 副会頭：五十嵐一朗	●コロナ禍で影響を受けた事業者 ●国・道・市などからの助成や補助 ●今後必要な施策
男女共同参画いわみざわ 会 長：佛田チヨ	●コロナ禍での職場や家庭での影響 ●国・道・市などからの助成や補助 ●今後必要な施策
北海道教育大学岩見沢校 学 生：越前谷唯音 学 生：中里美咲	●コロナ禍での学校生活・私生活の変化 ●バス減便等に伴う通学 ●市からの給付金・生理用品の支給 ●学生の活動場所 ●市内への就労 ●子ども食堂の運営
商店街振興組合連合会 （(有)松重時計眼鏡店） 会 長：松重彰伸	●コロナ禍での商店街の売上額・来客数・事業継続・廃業等 ●今後の事業展開や後継者育成見通し ●プレミアム付商品券に対する要望 ●商店街のにぎわいへの施策の要望
岩見沢市立緑陵高等学校 生徒会長：宇館 大	●コロナ禍での学校生活・私生活の変化 ●バス減便等に伴う通学 ●18歳で付与される選挙権 ●岩見沢の未来
岩見沢市農民協議会 書記長：松田直樹	●コロナ禍での影響と現状 ●市や市議会に対する要望
岩見沢青年会議所 理事長：嵯峨輝幸	●コロナ禍での影響と現状 ●2022年度の活動 ●市や市議会に対する要望

※各団体からの意見及び議員の答弁内容については、録画配信しておりますので、詳細につきましては、右記QRコードまたはGoogle等インターネット検索欄に「岩見沢市議会 YouTube」と検索の上、ご確認ください。



## 4. 議会だより読者からの意見

2名の市民からの意見をいただきました。

意見内容(要旨)	回答(要旨)
<p>①降雪による交通障害について</p> <p>②新市立病院の建設場所について</p> <p>③ふるさと納税を含め魅力あるまちづくりについて</p>	<p>【篠原議長 回答】</p> <p>①岩見沢市の除排雪はかなり良いほうであると考えていますが、除排雪にはお金がかかります。市民の皆さんの貴重な税金のため、議会としても、効率的な除排雪費を求めています。</p> <p>②建設場所は、4か所が候補地に挙がっており、3月下旬には市民説明会、市民からの意見募集を予定しております。建設には多額の事業費がかかるため、新病院建設特別委員会の中で慎重に議論を進めていきます。</p> <p>③最近では各自治体の返礼品競争になっておりますが、岩見沢市もお米から始まり、多彩なものを用意しております。魅力あるまちづくりをするため議員一同邁進していきます。</p>
<p>①児童生徒へのタブレットの配布と自主的な活用支援について</p> <p>②不登校児童生徒、家庭への支援対応について</p> <p>③「子どものみらいわプロジェクト」の中の学校復帰の記載について</p>	<p>【石黒副議長 回答】</p> <p>①児童生徒全員分のタブレットは整備されており、コロナによる学級閉鎖などの際には、家庭に持ち帰り、学習に活用されております。</p> <p>②不登校の児童生徒への支援は、個々の状況に応じて個別に行われております。また、支援機関や保護者会に関する情報提供は教育委員会で相談機関などをまとめたチラシを作成して配布していますが、フリースクールなどは含まれていないため、そうした情報でご存じのことがあれば、学校や教育委員会に提供してみてもはどうでしょうか。</p> <p>③学校復帰を前提としないことは十分認識しており、学校復帰だけを目指すような支援はしておりません。将来、社会的な自立を促す支援にも努めております。</p>

※議会だより読者からの意見及び議長・副議長の答弁内容については、録画配信しておりますので、詳細につきましては、右記QRコードまたはGoogle等インターネット検索欄に「岩見沢市議会 YouTube」と検索の上、ご確認ください。



## 5. 最後に

### 岩見沢市議会広報広聴事業

#### コロナ禍における市民と市議会との意見交換会を終えて

岩見沢市議会では市民に開かれた議会を目指して、平成26年度に各常任委員会で行った他都市調査報告会を初開催し、その検証結果を踏まえ、平成28年度からはより意見交換の要素を強くして開催をいたしました。

8回目となる今回は、本来であれば市民の皆様と直接対面し、活発な意見交換をする予定でありましたが、コロナ禍であることを踏まえまして、議会に対する御意見は、各団体の皆様からは動画で、議会だより読者様からはメールでいただき、それに対して議会が回答するという開催となりました。御意見を頂戴いたしました各団体の皆様及び議会だよりの読者様には深く感謝を申し上げますとともに、これからの議会活動に大変有意義なものとなりました。

今後も市民に信頼される議会、より身近な議会の実現に向けて努力し、二元代表制の下、市長をはじめとする執行機関と切磋琢磨して、岩見沢市政の発展に寄与できるように務めてまいります。

御協力を賜りました事に厚く御礼を申し上げます。

岩見沢市議会議長

篠原 藤雄